

第14回日本不妊カウンセリング学会学術集会

●日時

5月29日(金)10:00~18:30

●会場

◎日本消防会館「ニッショーホール」

(東京都港区虎ノ門2-9-16)

◎発明会館

(東京都港区虎ノ門2-9-14)

●テーマ

「がんとう生殖」～がんと向きあう不妊カウンセリングをめざして～

●プログラム

◎教育講演1「乳がんと生殖『診断の手引き』は何を変えるか?」清水千佳子(国立がん研究センター中央病院乳腺・腫瘍内科)

◎シンポジウム「“がんと生殖”の連携と協働を考える」一般病院における病診連携／不妊クリニックにおける病診連携／総合病院における院内連携・病病連携／がん・生殖医療における精神的サポート体制構築にむけての取り組み

●参加費

3000円(当日会場にて受付)

●会長

東梅久子(虎の門病院産婦人科リプロダクションセンター)

●問い合わせ先

NPO法人日本不妊カウンセリング学会

〒104-0051 東京都中央区佃2-13-7 メディカルブレインサービス

TEL: 03-3533-6531

FAX: 03-3533-6532

HP: <http://www.jsinf.com>

第56回日本母性衛生学会総会・学術集会演題募集

●演題募集期間

6月2日(火)まで

●学術集会会期

10月16日(金)・17日(土)

●会場

◎盛岡市民文化ホール「マリオス」(岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1)

◎いわて県民情報交流センター「アイーナ」

(岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1)

●テーマ

つないでいこう未来への母性医療——イーハトーブからのメッセージ

●プログラム

招請講演「小説からみた女性の生き方」浅田次郎(作家)

市民公開講座「世界遺産 平泉の浄土思想」山田俊和(中尊寺貫首), ほか

●問い合わせ先

運営事務局

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-5-5 ヤマダプランニング内

TEL: 019-635-6011

FAX: 019-635-6033

第13回思春期保健相談士学術研究大会

●日程

6月7日(日)

●会場

国立オリンピック記念青少年総合センター

(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

●テーマ

思春期男子の性はどう進むのか

●プログラム

大会長講演「性の進化とその歴史」

基調講演Ⅰ「思春期男子の性教育——思春期男子の泌尿器科疾患」

ほか

●参加費

1万円+税(演題発表者は7000円+税)

●会長

高波眞佐治(東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科)

●問い合わせ先

一般社団法人日本家族計画協会研修担当

TEL: 03-3269-4785

助産師のための「学びのYOGA」ハケ岳合宿

●日程

6月13日(土)~14日(日)

●会場

ペンション草原屋

(長野県茅野市玉川11400-1356)

●対象

助産師, マタニティヨガ指導者

●講師

きくちさかえ(出産育児環境研究会), 竹村絵実(サラママヨガ), 志直子(助産師), 清澤香織(助産師)ほか

●参加費

1万8000円(宿泊費, 2食代金含む)

●申し込み・問い合わせ先

出産育児環境研究会

e-mail: nagi10sk@yahoo.co.jp

またはFacebook ページ

生死学ワークショップ 誕生に寄り添う視点で死を見つめ直す

●日時

6月20日(土)11:00~18:00

●会場

相よるいのちの会「お産の家」
(愛知県岡崎市柱町字東荒子 123-18)

●対象

助産師, 一般

●講師

沖野幸(元吉村医院助産師長), 島袋伸子(相よるいのちの会理事), きくちさかえ(出産育児環境研究会代表, 社会デザイン学研究者)

●参加費

6000 円(ランチ代含む)

●申し込み・問い合わせ先

相よるいのちの会

HP: <http://www.aiyoriu.com/>

または Facebook ページ

日本看護協会 通常総会,
全国助産師交流集会

【通常総会】

●日時

6 月 9 日(火)14:00~17:30

6 月 10 日(水)10:00~16:15

●会場

神戸国際展示場 2 号館
(兵庫県神戸市中央区港島中町 6-11-1)

【全国助産師交流集会】

●日時

6 月 11 日(木)9:30~16:00

●会場

神戸国際展示場 1 号館 2 階
(同上)

第 38 回 JALC 母乳育児
支援学習会
in 神戸

●日時

6 月 20 日(土)10:00~18:00

6 月 21 日(日)8:45~15:15

●会場

神戸国際展示場 2 号館コンベンションホール

(兵庫県神戸市中央区港島中町 6-11-1)

●プログラム

「Understanding normal infant sleep: sleep development and sleep ecology (乳児の通常の睡眠パターンを理解する: 睡眠の発達と生態学)」

「Breastfeeding and infant sleep: what happens at night on the postnatal ward?(母乳育児と乳児の睡眠: 産後の病棟では, 夜, 何が起きているか?)」Helen L. Ball(通訳あり)

「母乳育児の解剖生理: 基礎と最新情報」水野克己(小児科医, IBCLC)

「母乳育児研究の方法と倫理」名西恵子(小児科医, IBCLC)

「添い寝に関する日本の文化と SIDS(乳幼児突然死症候群)」井村真澄(助産師, IBCLC)

「母乳育児成功のための 10 カ条, 理論から実践へ——障壁を見つめ, できることから 1 つずつはじめていくためには」五十嵐祐子(IBCLC), 田中奈美(産婦人科医, IBCLC), 黒澤かおり(助産師, IBCLC)

ほか

●申し込み方法

JALC のホームページ (<http://jal-net.jp>) を参照ください。

●問い合わせ先

日本ラクテーション・コンサルタント協会

TEL: 022-725-8560

FAX: 022-725-8561

カネソン母乳育児支援セミナー
in 大阪

●日時

6 月 21 日(日)10:00~16:00

●会場

ドーンセンター 5 階特別会議室
(大阪府大阪市中央区大手前 1-3-49)

●テーマ

母乳育児と愛着形成への支援

●プログラム

講義と手技「産前からの啓蒙と産後の支援——乳房ケアとベビマ」南田理恵(神戸市看護大学臨床教授, 助産師)

講演「人生の基盤を作る妊娠期から乳幼児期の環境」白川嘉継(福岡新水巻病院周産期センター長, 小児科医師)

●参加費

一般 6000 円, 学生 3000 円

●定員

60 名

●持ち物

手技練習に乳房模型(基底部のあるタイプが望ましい)を持参してください(会場販売あり)

●申し込み・問い合わせ先

カネソン 柳瀬ワイチ株式会社(担当: 神野)

TEL: 06-6928-3489

e-mail: kaneson-seminer@kaneson.co.jp

日本母子ケア研究会
第 16 回学術・実践報告会

●日時

6 月 21 日(日)10:00~16:00

●会場

横浜市健康福祉総合センターホール
(神奈川県横浜市中区桜木町 1-1)

●対象

看護師・保健師・助産師等医療従事者、母子支援にかかわる専門職者

●プログラム

◎教育講演「愛着の絆を育む専門職の尊い使命——理論と実践」ヘネシー澄子

◎報告会

「強みを伸ばす母乳育児支援——オレゴン・ヘルシースタートに学んで」佐藤のり子

「安楽な授乳をめざす支援」高橋恵美子

「脳が活性化する授乳——母と子がコミュニケーションをとる授乳」伊東厚子

●参加費

◎事前申込(6月12日まで)

1万円(年会費込)

◎当日参加(6月13日以降の申し込み)

1万2000円(年会費込)

●問い合わせ先

日本母子ケア研究会

TEL: 0265-82-3600

FAX: 0265-82-5177

e-mail: boshicare@n-souken.co.jp

第16回日本赤十字看護学会学術集会

●会期

6月27日(土)・28日(日)

●会場

日本赤十字看護大学

(東京都渋谷区広尾 4-1-3)

●テーマ

赤十字の「しなやかな強さ」——1人ひとりを大切にする生活ケアのデザイン

●プログラム

◎会長講演「看護実践批評の試み——しなやかな強さの探求に向け

て」高田早苗(日本赤十字看護大学学長)

◎教育講演「当事者とともに歩む、これからの専門家ケアのかたち」猪飼周平(一橋大学教授)

●問い合わせ先

第16回日本赤十字看護学会学術集会事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3 日本赤十字看護大学内

FAX: 03-3409-0589

e-mail: jrdsn@redcross.ac.jp

HP: http://www.jrdsn16.jp/

第17回日本母性看護学会学術集会

●日時

6月28日(日)9:20~17:30

●会場

JA 共済ビル カンファレンスホール(東京都千代田区平河町 2-7-9)

●テーマ

Women's Health Research 新たなジェネレーションを切り拓く

●プログラム

◎特別講演「近未来の周産期医療」竹田省(順天堂大学医学部産婦人科学講座主任教授)

◎教育講演1「エビデンス構築のためのシステムティック・レビュー」牧本清子(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻看護実践開発科学講座教授)

ほか

●参加費(当日)

会員 8000円、非会員 9000円、学生 2000円

●会長

高橋眞理(順天堂大学大学院医療看護研究科)

●問い合わせ先

学術集会事務局

〒279-0023 千葉県浦安市高洲

2-5-1 順天堂大学医療看護学部内

FAX: 047-350-2582

e-mail: jasmn2015@juntendo.ac.jp

HP: http://www.gakkai.ne.jp/jsmn/conference/17/

ガスケアプローチ研修会

【東京会場】

【分娩体位および妊娠・分娩産褥各期のペリネの保護～復習・総括】

●日程

7月6日(月)

●対象

過去に「分娩体位および妊娠・分娩産褥各期のペリネの保護について(3日間)」の研修を受講した医師・助産師

【分娩体位および妊娠・分娩産褥各期のペリネの保護】

●日程

7月7日(火)~7月9日(木)

●対象

医師・助産師

●会場

日本赤十字看護大学広尾キャンパス(東京都渋谷区広尾 4-1-3)

【大阪会場】

【分娩体位および妊娠・分娩産褥各期のペリネの保護】

●日程

7月16日(木)~7月18日(土)

●対象

医師・助産師

●会場

メディカ出版大阪本社

(大阪市淀川区宮原 3-4-30 ニッセイ新大阪ビル 16F)

【以下、両会場共通】

●講師

ベルナデッド・ド・ガスケ(ガスケ

情報お待ちしています。

告知したいイベント、セミナーなど編集室にお寄せください。開催日の約2か月前にFAX、郵送、e-mailなどでお送りいただけると幸いです。
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 医学書院「助産雑誌」編集室/FAX.03-5804-0485/e-mail.josan@igaku-shoin.co.jp

アプローチ創始者)

●定員

15名(各回)

●問い合わせ先

日本ガスケアアプローチ協会

HP: <http://www.gasquet-japon.com/>

第11回 ICM アジア太平洋 地域会議・助産学術集会

●会期

7月20日(月)～22日(水)

●会場

パシフィコ横浜

(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)

●テーマ

すべての妊産婦と赤ちゃんに助産師のケアを

●プログラム

◎会長講演「すべての妊産婦と赤ちゃんに助産師のケアを」坂本すが

◎基調講演「ICM 会長による講演」Frances Day-Stirk

◎特別講演

「アジアにおける助産師活動支援——ベトナム助産師会とモンゴル助産師会の立ち上げから」南野知恵子

「産科医療補償制度と周産期における医療安全」後信

◎教育講演「原著に学ぶクリステレル胎児圧出法」池ノ上克

◎自由集会

「母乳育児支援」

「女性に寄り添う助産教育を考える」

「もはや産科では、子供は産まれない? “混合病棟”における分娩の安全と質を考える」

「アジア・アフリカの助産ケアを考えよう!」

「ペリネイタル・ロスのケア——体験者の声を聴こう」

◎ワークショップ

「今、求められている産後ケア」(市川香織, 坂梨薫, 萩原玲子)

「エビデンスを助産実践に活かそう」(大田えりか, 村山綾子, 永森久美子)

「日本の助産師の技を受け継ごう」(山本詩子, 神谷整子, 矢島床子)
「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)の活用～取組事例から学ぼう!」(安田陽子, 大城洋子, 久保絹子, 砥石和子, 村田佐登美)ほか

●参加費

◎通常事前登録4万円(5月1日～6月17日)

◎当日登録5万円(7月20日～7月22日)

◎学生は全登録期間において、以下の料金です。

助産学生5000円, 大学院生1万円(7月20～22日時点で学生の方が対象。当日学生証の提示が必要)

●事前登録申し込み方法

ホームページ(<http://www.icmaprc2015.org/>)上の申込フォームよりお申し込みください。

●問い合わせ先

第11回 ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会運営事務局

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル 株式会社コングレ内

TEL: 03-5216-5318

FAX: 03-5216-5552

e-mail: icm2015aprc@congre.co.jp

第37回 JALC 母乳育児 支援学習会

アンコール編 in 福岡

●日時

7月26日(日)9:55～15:40

●会場

福岡大学病院 福大メディカルホール

(福岡県福岡市城南区七隈7-45-1)

●対象

母乳育児を援助する専門家(助産師, 看護師, 保健師, 医師, 歯科医師, 栄養士など)をはじめ, 学生, 母乳育児支援団体認定リーダーなど母乳育児支援に興味のある方であれば, どなたでも参加いただけます。

●プログラム

「母乳育児のポリティクス——おっぱいとビジネスの不都合な関係」

本郷寛子(IBCCLC)

「舌小帯短縮症と母乳育児」

瀬川雅史(小児科医, IBCCLC)

「ビタミンDと鉄——母乳育児支援者のために」多田香苗(小児科医, IBCCLC)

●定員

300名

●参加費

◎事前登録

会員9000円, 非会員1万4000円, 学生3000円

◎当日受付

会員1万円, 非会員1万5000円, 学生3000円

●申し込み方法

JALCのホームページ(<http://jal-net.jp>)を参照ください。

●事前登録申し込み受付, 参加費払い込み期間

5月1日(金)～6月30日(火)

●問い合わせ先

日本ラクテーション・コンサルタント協会

TEL: 022-725-8560

FAX: 022-725-8561